

(仮称) 今治版ネウボラ拠点施設整備基本構想 (素案) に対するパブリックコメントの結果について

- (1) 意見の募集期間 令和5年3月16日(木)～令和5年3月29日(水)
- (2) 提出者数 6名
- (3) 提出意見数 34件



i.i.imabari!
★ i'm into imabari! ★



♡Maya marx♡

“こどもが真ん中”
今治版ネウボラ

※一部加筆修正しておりますが、いただいたご意見をできるだけ原文のまま抜粋し、掲載しています。

No.	構想(案)	意見	意見に対する市の考え方
1	4 施設整備の方向性	すべての空き学校をそれぞれ使用すべき。 “お母さん”や“子ども”の年齢で使用施設を分けるのではなく、住区域で使用施設を分け、使用者の移動距離の負担を軽減し、“使えない”施設になることを防ぐべき。	廃校施設は建物の耐震化を実施しておらず経年劣化が激しいため、使用が困難な状況であり、市域の広さに合わせた対応も必要であることから、構想する施設をハブ機能として、地域の身近な相談窓口や、子育て世代に寄り添った公園の機能整備などサテライト機能と連携して、市内全体で子育て環境の充実を進めていきます。
2	4 施設整備の方向性	天候に左右されずに安心して遊べる屋内外の施設が求められているとのことですが、雨の時の不便さ、雨の恵みを知る機会を奪いかねないのではないのでしょうか？税金を出して、雨の日用の遊び場を作る必要性をもう一度再考されるというのはいかがでしょうか。	子どもが真ん中親会議をはじめとする各種会議において、天候に左右されずに安心して遊ぶことができる屋内外の遊び場所が欲しいという要望が多く寄せられていることを踏まえ、子どもから大人まで多世代が日常的に集うことができる施設を目指そうとするものです。 ご提案いただいた内容を参考にしながら、自然との調和にも配慮した施設整備について、今後、基本計画策定と併せて検討していきます。
3	4 施設整備の方向性	住んでいる地区の近くに相談場所や交流できる場所があるのも、利用しやすいように思うので、中心部に集まってしまうことがなく残る場所もあるといいのではないかと思います。	市域の広さに合わせた対応も必要であることから、構想する施設をハブ機能として、地域の身近な相談窓口や、子育て世代に寄り添った公園の機能整備などサテライト機能と連携して、市内全体で子育て環境の充実を進めていきます。
4	4 施設整備の方向性	小学生の子供がいないため実情はわかりかねますが、現在小学校等に併設されている放課後児童クラブの定員に余裕がない場合、児童クラブの機能を備えるのはどうでしょうか。	放課後児童クラブについては、各地区においてニーズに応じた受け入れ体制の構築に努めているところで、令和5年度より新たに広域対応の放課後児童クラブが開設されています。 構想する施設をハブ機能として、地域の身近な相談窓口や、子育て世代に寄り添った公園の機能整備などサテライト機能と連携して、市内全体で子育て環境の充実を進めていきます。
5	4 施設整備の方向性	施設建設することで、誰一人取り残されない社会が実現するのか、税金の生きた使い道をいろんな角度から検証していただけたらと思います。	子育て分野においても、本市施策の共通視点としているSDGsの考え方を十分に反映するよう努め、虐待の防止や貧困対策など、「誰一人取り残さない」社会の実現をめざした取り組みを行う必要があります。 妊娠・出産から子育ての各ライフステージにおいて、子どもの成長や発達の過程に応じた様々な悩みに対して、切れ目のない支援を行い、支援を必要とする家庭に対して必要とするサービスを迅速に提供し、複雑・多様化する子育て世帯に対する伴走型の相談支援体制の強化を目指します。
6	4 施設整備の方向性	各こども園、保育所、幼稚園の特色やカラー、各小学校区の情報（児童クラブの空き状況、民間学童の情報も含め）、一か所で情報収集ができることが望ましい。	妊娠・出産から子育ての各ライフステージにおいて、子どもの成長や発達の過程に応じた様々な悩みに対して、子育てに関連する関係機関のネットワークをより強化することで、子育て情報を一元化し、よりきめ細やかな相談対応を行う仕組みの構築を目指します。
7	4 施設整備の方向性	のまうまハイランドをもう少し整備し、体験乗馬やふれあいコーナーの時間をもっとふやすべき。野間馬の魅力再確認のためにも普通の馬も飼い、乗馬クラブを誘致してはどうか。(乗馬クラブ一般会員にも動物や厩の世話を協力してもらい、協力したらレッスンチケット優遇措置などをとる)	構想する施設をハブ機能として、地域の身近な相談窓口や、子育て世代に寄り添った公園の機能整備などサテライト機能と連携して、市内全体で子育て環境の充実を進めていきます。

※一部加筆修正しておりますが、いただいたご意見をできるだけ原文のまま抜粋し、掲載しています。

No.	構想(案)	意見	意見に対する市の考え方
8	4 施設整備の方向性	公民館を児童館寄りにシフトチェンジ。マイナンバーカードで公民館業務はより簡素になると見込まれるため。学校近くにある公民館は児童館に。	構想する施設をハブ機能として、地域の身近な相談窓口や、子育て世代に寄り添った公園の機能整備などサテライト機能と連携して、市内全体で子育て環境の充実を進めていきます。なお、公民館は地域にとって生涯学習、コミュニティの拠点ですので、多様な世代の人にご利用いただけるようなサービスの向上を図ってまいります。
9	5 「（仮称）今治版ネウボラ拠点施設」の基本的な考え方	ユニバーサルデザインとして、生きていく上で社会に障がいがあり生きにくさを感じている子どもたちへの理解をどう促していくかも課題であると思われます。特性のある子どもたちは支援学級や支援学校に分離されて教育を受けているのが主流です。特性のある子どもたちの困り感を知らずにだいたいの子どもは大人になります。無知が差別を生みます。分離教育ではなく、大阪のみんなの学校（大空小学校）のようなインクルーシブな教育を受けられる今治市になることを望みます。	施設利用者のニーズを踏まえ、子どもや障がい者等の利用に配慮して、バリアフリー化はもとより、ユニバーサルデザインやキッズデザインに配慮した、誰もが快適に使いやすいインクルーシブな施設として、提案いただいた内容を参考にしながら、今後、基本計画策定と併せて検討していきます。
10	6 備えるべき機能	近隣自治体になく、今治にしかない、今治でしかできない、遊び場をつくるべき。自転車推しは分かったが、すべて大人向けばかり。子どもへの自転車興味を誘導する施設を。Xスポーツ、アーバンスポーツ施設もつくれるだろう。公園で遊ぶ年代(幼稚園入学前)の幼児向け遊具の設置(ex; はめこみブランコ) 特色ある公園(ex; 恐竜公園、はたらく車公園、アスレチック公園、室内公園) (はたらく車は廃車を再利用、恐竜公園はモニュメントを置くだけでも可、室内公園にはトランポリン等子どもが新しいスポーツに目を向けられるものを設置)	複合施設のイメージとして、多世代の交流が生まれる居場所を創出することで誰もが気軽につどい、子育てを取り巻く支援の輪がつながり、次世代を担う子どもたちをみんなではぐくむために必要な機能を検討しており、時代のニーズに沿った児童センターとして機能拡充を図り、18歳未満のすべての子どもを対象に、健全な遊びを通じて、健康の増進と豊かな情操を育むとともに、子どもと保護者が地域で安心して暮らせるように、親子の交流拠点や居場所として整備することを目指します。ご提案いただいた内容を参考にしながら、今後、基本計画策定と併せて検討していきます。
11	6 備えるべき機能	子育て世代活動支援センターの中に、小学校、中学校、高校での不登校（児・生）への対応（相談等）も加えていただけたらと思います。	今治版ネウボラは、妊娠から出産及び乳児期から18歳までの児童等を対象とした切れ目なく支援する体制の構築を目指すもので、ネウボラ政策課に設置した「子ども家庭総合支援拠点」を中心に、就学後の壁や不登校、虐待、貧困支援等、子育て家庭の諸問題に対して、教育委員会と連携して伴走型の相談支援を行っています。この「子ども家庭総合支援拠点」を「子育て世代活動支援センター」に備え、子どもの成長や発達の過程に応じた様々な悩みに対して、家庭に寄り添った伴走型相談支援の一層の強化を目指します。
12	6 備えるべき機能	不登校は相談に行くのに抵抗があり、学校の中に相談することができる場所があるより子育て世代活動支援センターの中にあり、気軽に相談に行ければ、本人・家族の負担軽減につながるのではないのでしょうか。相談する相手も不登校で悩まれたことのある家族の方が対応された方が実際体験した話を聞けるため、相談に来られる方も話しやすいのではないのでしょうか。	今治版ネウボラは、妊娠から出産及び乳児期から18歳までの児童等を対象とした切れ目なく支援する体制の構築を目指すもので、ネウボラ政策課に設置した「子ども家庭総合支援拠点」を中心に、就学後の壁や不登校、虐待、貧困支援等、子育て家庭の諸問題に対して、教育委員会と連携して伴走型の相談支援を行っています。この「子ども家庭総合支援拠点」を「子育て世代活動支援センター」に備え、子どもの成長や発達の過程に応じた様々な悩みに対して、家庭に寄り添った伴走型相談支援の一層の強化を目指します。

※一部加筆修正しておりますが、いただいたご意見をできるだけ原文のまま抜粋し、掲載しています。

No.	構想(案)	意見	意見に対する市の考え方
13	6 備えるべき機能	不登校支援のことに触れられておらず、不登校の子どもの学習保障やサポート体制、不登校児の支援を明記していただけるとありがたいです。	今治版ニューボラは、妊娠から出産及び乳児期から18歳までの児童等を対象とした切れ目なく支援する体制の構築を目指すもので、ニューボラ政策課に設置した「子ども家庭総合支援拠点」を中心に、就学後の壁や不登校、虐待、貧困支援等、子育て家庭の諸問題に対して、教育委員会と連携して伴走型の相談支援を行っています。 この「子ども家庭総合支援拠点」を「子育て世代活動支援センター」に備え、子どもの成長や発達過程に応じた様々な悩みに対して、家庭に寄り添った伴走型相談支援の一層の強化を目指します。
14	6 備えるべき機能	今治市は交通の便が悪いため、自家用車での移動がほとんどです。そのため、利用者に対して十分な駐車場の確保をお願いできますでしょうか。	公共交通機関の利便性が確保され、広域な市域全体からも日常的にアクセスしやすい観点から、市域全体の中心部を建設候補地としておりますが、自家用車での利用が多いことも踏まえて、利用ニーズに応じた適正な駐車台数の確保について、今後、基本計画策定と併せて検討していきます。
15	6 備えるべき機能	麹町中学のような画期的な取り組みを愛媛、今治でチャレンジしてみるのはいかがでしょうか。	複合施設のイメージとして、多世代の交流が生まれる居場所を創出することで誰もが気軽につどい、子育てを取り巻く支援の輪がつながり、次世代を担う子どもたちをみんなではぐくむために必要な機能を検討しております。 提案いただいた内容を参考にしながら、様々な他市の先進的な事例を踏まえ、今後、基本計画策定と併せて検討していきます。
16	6 備えるべき機能	仮に作られるとしたならば、川崎市の夢パークのような多様性に満ちた五感をたっぷり使った遊びもできる施設ができると良いと思います。	複合施設のイメージとして、多世代の交流が生まれる居場所を創出することで誰もが気軽につどい、子育てを取り巻く支援の輪がつながり、次世代を担う子どもたちをみんなではぐくむために必要な機能を検討しております。 提案いただいた内容を参考にしながら、様々な他市の先進的な事例を踏まえ、今後、基本計画策定と併せて検討していきます。
17	6 備えるべき機能	現在の中央保健センター・発達支援センター・本庁（虐待相談・婦人相談・母子父子相談）・子育て包括支援（母子手帳交付・伴走型相談支援面談）・ぱりっこ広場・ファミサポ・児童館の機能が一つの建物に集約するイメージであっているのでしょうか？	複合施設のイメージとして、多世代の交流が生まれる居場所を創出することで誰もが気軽につどい、子育てを取り巻く支援の輪がつながり、次世代を担う子どもたちをみんなではぐくむために必要な機能として、「子育て世代活動支援センター」「保健センター」「児童センター」「地域交流センター」を複合施設として一体的に運営することとしています。
18	6 備えるべき機能	現在の児童館と中央公民館の機能を集約した施設が児童センターと地域交流センターということなのでしょうか？	複合施設のイメージとして、多世代の交流が生まれる居場所を創出することで誰もが気軽につどい、子育てを取り巻く支援の輪がつながり、次世代を担う子どもたちをみんなではぐくむために必要な機能として、「子育て世代活動支援センター」「保健センター」「児童センター」「地域交流センター」を複合施設として一体的に運営することとしています。

※一部加筆修正しておりますが、いただいたご意見をできるだけ原文のまま抜粋し、掲載しています。

No.	構想(案)	意見	意見に対する市の考え方
19	6 備えるべき機能	子育て世代包括支援センターの伴走型相談支援面談とは具体的にどういうことを意味するのでしょうか？	妊娠期から様々な時機を捉え継続的に子育て世代の皆さんをサポートするため、伴走型相談支援として、保健師や助産師、看護師、社会福祉士などの専門職を配置し、妊産婦を巡る様々な課題に多職種で対応できる体制を整えています。そして、「母子健康手帳を交付する妊娠届出時」と「妊娠8か月前後」、また「出生届出と乳児家庭全戸訪問の間」に面談を行い、オーダーメイドのサポートプラン作成などにより、出産・育児等の見通しを立てるための相談や継続的な情報発信等を行うことで、産後ケア事業や子育て応援ヘルパー事業など各種サービスの利用に繋げるなど、全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう取り組んでいます。
20	6 備えるべき機能	施設には、ネウボラ以外の役所機能も少し持たせておき、（例えば【市民が真ん中課】のような【なんでもすぐやる課】）子育て世帯が感じたこと、要望がすぐに陳情できて、汲み取ってもらえる場所を作る。 これに準じて、各学校、もしくは各ネウボラ施設で学期毎に子ども議会を開催。（市内小中高レベルで実施。18歳選挙への心構えにもなるし、役所&議員も生の要望を拾えるはず）模擬議会には持ち回りにて市議・役人も参加。 要望や模擬議会が出た意見については、市議会、役所内で本議会とは別に早めに検討する機会を設けるなど、次の模擬議会までには進捗が報告出来るようにすることが望ましい。	複合施設のイメージとして、多世代の交流が生まれる居場所を創出することで誰もが気軽につどい、子育てを取り巻く支援の輪がつながり、次世代を担う子どもたちをみんなではぐくむために必要な機能を検討しております。 提案いただいた内容を参考にしながら、様々な他市の先進的な事例を踏まえ、今後、基本計画策定と併せて検討していきます。
21	8 管理運営の基本的な考え方	中学生以上は自身の自転車での移動が可能かと思えます。小学生以下の場合はどうにお考えでしょうか。親族またはファミリーサポート等での送迎が難しい場合もあります。小学校の放課後に巡回するバス等何かしらの方法があるとより利用しやすいように思えます。	市域の広さに合わせた対応も必要であることから、構想する施設をハブ機能として、地域の身近な相談窓口や、子育て世代に寄り添った公園の機能整備などサテライト機能と連携しながら、利用者の利便性に配慮し、誰もが訪れやすい施設の管理運営について、今後、基本計画策定と併せて検討していきます。
22	8 管理運営の基本的な考え方	施設に行きたくても、こどもの足では行けなかったり、共働きで連れていけなかったりするご家庭のことへも配慮をいただけるとありがたいです。	構想する施設をハブ機能として、地域の身近な相談窓口や、子育て世代に寄り添った公園の機能整備などサテライト機能と連携しながら、利用者の利便性に配慮し、誰もが訪れやすい施設の管理運営について、今後、基本計画策定と併せて検討していきます。
23	8 管理運営の基本的な考え方	地域企業と共同で子どもに地域と企業の魅力を伝える ①造船と組んで海の遊び場を作る 作る場所はしまなみ海道から見える場所にして観光客の市内足止めを誘う マリンスレチックでも可、ミニ四駆コース的なミニポート作り&コースもいい ②夢スタ近くにカート場やモトサーキット場を（渦潮や地域企業と共同開発で電子カートを）	時代のニーズに沿った児童センターとして機能拡充を図り、18歳未満のすべての子どもを対象に、健全な遊びを通じて、健康の増進と豊かな情操を育むとともに、子どもと保護者が地域で安心して暮らせるように、親子の交流拠点や居場所として整備することを目指します。 ご提案いただいた内容を参考にしながら、子どもや親子だけでなく多世代が、誰でも気軽に集うイベントや講座の開催等について、今後、基本計画策定と併せて検討していきます。

※一部加筆修正しておりますが、いただいたご意見をできるだけ原文のまま抜粋し、掲載しています。

No.	構想(案)	意見	意見に対する市の考え方
24	8 管理運営の基本的な考え方	<p>将来に向けたキャリア教育の一環として、世代間交流として地元の先輩などの職業について聞く機会や、ものづくりなど体験できるイベントを定期的に開催していただきたいと思います。</p> <p>学校の職場体験では一つの職場しか体験することができません。色々な職業があることを知って、自分の興味関心をどんどん広げ、深めることにより、将来の職業選択につながっていく道筋がみえてくると思います。また、今治の地元産業について、子ども達をもっと知る機会を持ってほしいと思います。将来、起業をしようとする子ども達もいるかもしれません。そんな子ども達のサポーターと出会える場になってほしいなと思います。</p>	<p>子どもや親子だけでなく多世代が、誰でも気軽に集うイベントや講座の開催等、日常的に交流が生まれる施設の管理運営を目指します。</p> <p>ご提案いただいた内容を参考にしながら、今後、基本計画策定と併せて検討していきます。</p>
25	8 管理運営の基本的な考え方	<p>ファミリーサポート及び私立保育園の一時預かりの利用は生後6か月以上となっております。母親自身の通院や検診を受けたくても、預け先がないため先延ばしにしている場合もあると思います。特別な事情の場合は、生後6か月未満でも預けられるようにしてはどうでしょうか。</p>	<p>子育て世代活動支援センターにおいて、日常生活をする上で突発的な事情や社会参加などにより、一時的に家庭での保育が困難になった乳幼児を一時的に預かることを目指しています。</p> <p>提案いただいた内容を参考にしながら、市民一人一人の多様なニーズへ応えることを目指して、今後、基本計画策定と併せて検討していきます。</p>
26	8 管理運営の基本的な考え方	<p>親もくつろげる子育て、親子ともに偏差値に振り回されない子育てができる社会システムの見直しをこの機会に問い直しをしてみるのもよいのではないのでしょうか。</p>	<p>提案いただいた内容を参考にしながら、多様で質の高い子育て支援サービスを安定的かつ継続的に提供できる施設の管理運営について、今後、基本計画策定と併せて検討していきます。</p>
27	8 管理運営の基本的な考え方	<p>学校が地域のコミュニティの担い手であることから、学校をもっとバックアップする体制を整えることも必要のように思います。</p>	<p>提案いただいた内容を参考にしながら、子育てに関わる様々な市民や団体・企業の参画のもと、多機関による子育て支援のネットワークを活用した施設の管理運営について、今後、基本計画策定と併せて検討していきます。</p>
28	8 管理運営の基本的な考え方	<p>施設という立派な箱ものにお金を投資するのではなく、学校の先生が働きやすい環境を整える工夫や、この保健師さんになら相談してみようと思える保健師さんを増やす、人への投資が求められるのではないかと考えています。</p>	<p>人材育成など、組織運営に重要となる基盤を早急に整え、今後の市民ニーズに的確に対応していくことが必要不可欠となっています。</p> <p>提案いただいた内容を参考にしながら、多様で質の高い子育て支援サービスを安定的かつ継続的に提供できる施設の管理運営について、今後、基本計画策定と併せて検討していきます。</p>
29	8 管理運営の基本的な考え方	<p>発達支援センターにおいては、より一層切れ目のない支援を目指してほしいです。</p> <p>職員の配置について、専門職（臨床心理士、言語聴覚士、作業療法士、精神保健福祉士等）を配置してほしいです。特に、臨床心理士は常勤で複数人配置をお願いしたいです。言語聴覚士・作業療法士・精神保健福祉士においては、常勤が難しくても、月に何回か相談日を設ける等してほしいです。</p> <p>また、心理職の資格を持っていない職員に対しては、傾聴・共感などのカウンセリングの基礎的な研修を行っていただきたいです。</p>	<p>人材育成など、組織運営に重要となる基盤を早急に整え、今後の市民ニーズに的確に対応していくことが必要不可欠となっています。</p> <p>提案いただいた内容を参考にしながら、多様で質の高い子育て支援サービスを安定的かつ継続的に提供できる施設の管理運営について、今後、基本計画策定と併せて検討していきます。</p>

※一部加筆修正しておりますが、いただいたご意見をできるだけ原文のまま抜粋し、掲載しています。

No.	構想(案)	意見	意見に対する市の考え方
30	8 管理運営の基本的な考え方	<p>発達支援センターに専門職を常勤でお願いしています。</p> <p>臨床心理士は複数配置を望みます。言語聴覚士、作業療法士、精神保健福祉士もいれば、心と体をトータルでサポートできる体制になると思います。</p> <p>子育て相談の総合窓口は、保健師を配置してどのような機関につながればいいのかをトライアージするところになると想像します。そうなれば、発達支援センターは専門機関としての役割を担うことになるので、ぜひ上記の専門職を配置していただきたいです。</p>	<p>人材育成など、組織運営に重要となる基盤を早急に整え、今後の市民ニーズに的確に対応していくことが必要不可欠となっています。</p> <p>提案いただいた内容を参考にしながら、多様で質の高い子育て支援サービスを安定的かつ継続的に提供できる施設の管理運営について、今後、基本計画策定と併せて検討していきます。</p>
31	8 管理運営の基本的な考え方	<p>子育て世代包括支援センターについて、複数のチームで担当地区をカバーするようなシステムになると嬉しいです。</p>	<p>子育て世代包括支援センターでは、保健師や助産師、看護師、社会福祉士などの専門職が、各地区担当の保健師と連携しながら、乳児家庭全戸訪問や健康相談にチームで対応しております。また、各地区の主任児童委員による赤ちゃん訪問などと併せて、全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう取り組んでいます。</p> <p>提案いただいた内容を参考にしながら、多様で質の高い子育て支援サービスを安定的かつ継続的に提供できる施設の管理運営について、今後、基本計画策定と併せて検討していきます。</p>
32	8 管理運営の基本的な考え方	<p>子どもに発達の遅れや障害があることで出向いていくということが難しい場合があります。家へ訪問してくれるシステムがあり、希望をすると小さい子どもだけでなく18歳まで利用できる形があることで、悩みを抱えている方たちが一歩踏み出すきっかけになるのではないかと思います。</p>	<p>子どもの成長や発達の過程に応じた様々な悩みに対して、家庭に寄り添った伴走型相談支援の強化に向けて、提案いただいた内容を参考にしながら、多様で質の高い子育て支援サービスを安定的かつ継続的に提供できる施設の管理運営について、今後、基本計画策定と併せて検討していきます。</p>
33	8 管理運営の基本的な考え方	<p>ファミサポやマイ保育園ではなく、ネウボラ拠点で一時預かりが利用できる案は利用し易そうで素晴らしいと思う。</p>	<p>子育て世代活動支援センターにおいて、日常生活をする上で突発的な事情や社会参加などにより、一時的に家庭での保育が困難になった乳幼児を一時的に預かることを目指しています。</p> <p>多様で質の高い子育て支援サービスを安定的かつ継続的に提供できる施設の管理運営について、今後、基本計画策定と併せて検討していきます。</p>

※一部加筆修正しておりますが、いただいたご意見をできるだけ原文のまま抜粋し、掲載しています。

No.	構想(案)	意見	意見に対する市の考え方
34	8 管理運営の基本的な考え方	<p>各小学校から放課後にバスを出して通えるようにする。以下、提案。</p> <p>(仮) こどもカレッジ</p> <p>事前登録制で利用でき、施設では様々なクラスを実施。格安で利用でき、塾や習い事に開放。先生に教員免許がなくてもよい。(資格がないことにより格安であることを親にも納得させる。地域や公民館の趣味的講座の立ち位置) 貧困家庭の学習や習い事のサポート、児童クラブ待機児のサポート、学校外の友人を作ること等につながる事業とする。(学習、ダンス・体操・武道等運動系、プログラミングや工作など、多岐にわたるものが好ましい。ゲームやSNSは持ち込み禁止。また、一般向け習い事も可。若しくは、老人クラブ等。昔の遊びなど相互情報交換の場にもする)</p> <p>参加講座はシステム管理する。バス乗車もICカードで行う。学期ごとに児童が親と相談しながらカリキュラムを組み、施設やクラスの人数を調整しスケジュールを作成。</p>	<p>複合施設のイメージとして、多世代の交流が生まれる居場所を創出することで誰もが気軽につどい、子育てを取り巻く支援の輪がつながり、次世代を担う子どもたちをみんなではぐくむために必要な機能を検討しております。</p> <p>提案いただいた内容を参考にしながら、様々な他市の先進的な事例を踏まえ、多様で質の高い子育て支援サービスを安定的かつ継続的に提供できる施設の管理運営について、今後、基本計画策定と併せて検討していきます。</p>